

# クラウド版を開発

## 医療通訳支援システム

ろけつと開発（前橋市石倉町、宇田川利明社長）は、医療関連事業を手掛けるC&T（同市石倉町、

販売をスタートし、現在アップル社のApp Storeで有料公開されている。

今後、国際大会や国際会議に試供版を提供していく予定。ろけつと開発では「開催日に、けがや病气、事故などが発生した場合に備え安心・安全な通訳システムとして必須となる地位を得たい」としている。

瀧澤清美社長）、医療機器販売のメディコ（高崎市箕郷町上芝、戸澤健社長）と共同で商品化した医療通訳支援システム「メディカルランゲージ」のクラウド版の開発を進めている。11月に前橋市内で行われた空手大会で試験的にサービスを提供したほか、今後も国際大会、国際会議などでPRし、来春の正式リリースを目指していく。

こうした中、ろけつと開発では、パソコン、タブレット、スマートフォンで簡易に利用できるクラウド版の開発を進めている。東京五輪の開催やキャンプ地誘致、観光などにより訪日外国人の増加が見込まれ、医療機関を利用するケースが増えることも予想される。

国際会議に試供版を提供していく予定。ろけつと開発では「開催日に、けがや病气、事故などが発生した場合に備え安心・安全な通訳システムとして必須となる地位を得たい」としている。

メディカルランゲージは、医療現場のさまざまな場面に応じ、高精度の対訳を施した対話型の通訳支援アプリ。医師や看護師にヒアリングした6000の会話パターンを用意。今年1月から本格

11月26、27日にヤマト市民体育館前橋で開催された「第5回I.K.O.M.A.T.U.S.H.I.M.M

が有効だとみている。

同社では、その際にクラウド版

（山田誠二）



左から宇田川、戸澤、瀧澤各社長